

抗菌薬適正使用・抗菌薬不足に関するアンケート結果 (速報)

調査期間：2023年10月24日～11月1日

調査対象：当院の合同カンファに参加の全24施設

(加算2：3施設, 加算3：3施設, 外来：18施設)

調査方法：各施設宛にGoogle formで作成したアンケートのURLを送信

回答率：67% (16/24)

加算2：100% (3/3)

加算3：100% (3/3)

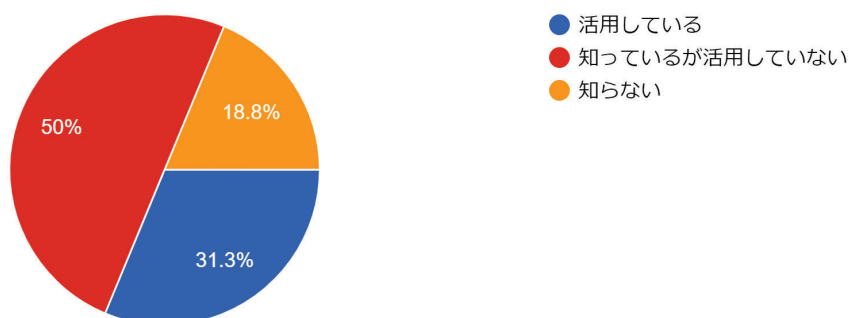
外来：56% (10/18)

未回答のご施設は11月17日までに
ご回答頂きますようお願い致します

問1. 厚生労働省が作成した「抗微生物薬適正使用の手引き」をご存知ですか？

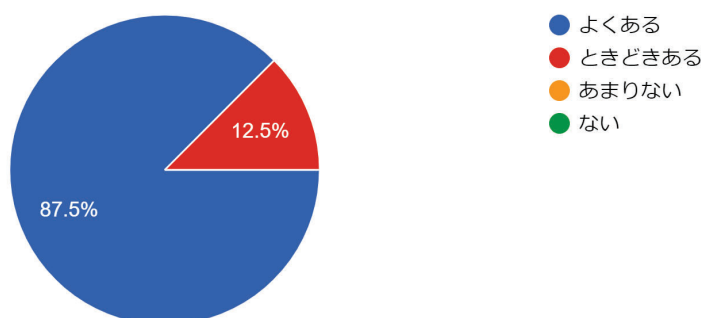
※「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版(2017年6月)」と新たに乳幼児編が加わった「第二版(2019年12月)」が公開されています。

16 件の回答



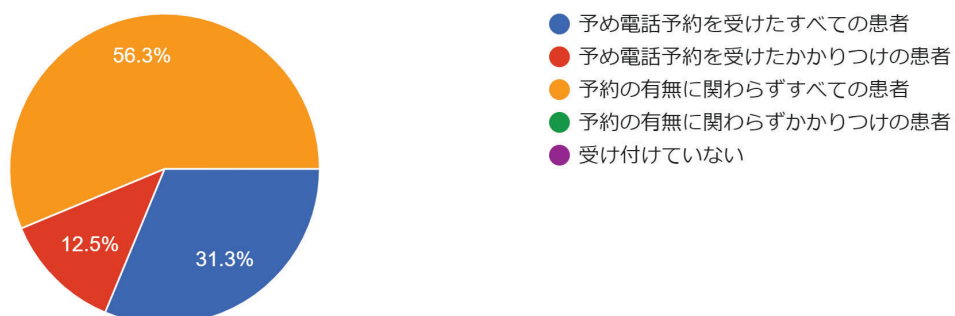
問2. 日常、急性気道感染症症状（鼻水や咽頭痛、咳）を呈する患者（COVID-19を含む）を診察する機会はどの程度ありますか？

16 件の回答



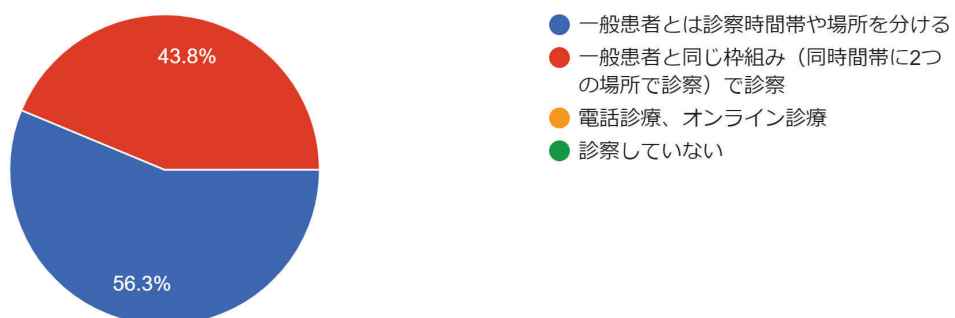
問3-1. 発熱もしくは急性気道感染症症状（鼻水や咽頭痛、咳）を呈する患者（COVID-19を含む）の診察をどのように行っていますか？対象患者についてお答えください。

16 件の回答



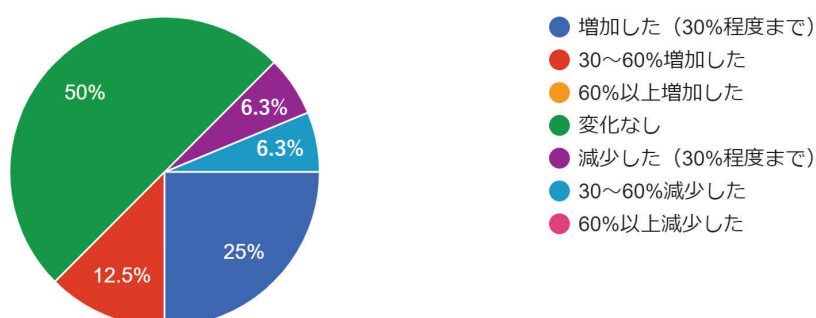
問3-2. 問3-1の診察方法についてお答えください。

16 件の回答



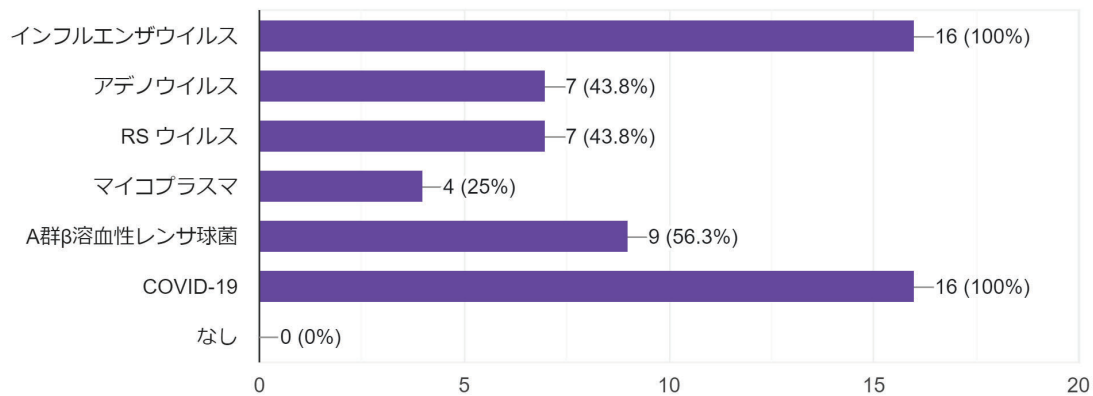
問4. 急性気道感染症症状で受診する患者は、COVID-19流行以前と比較してどの程度増減しましたか？

16 件の回答



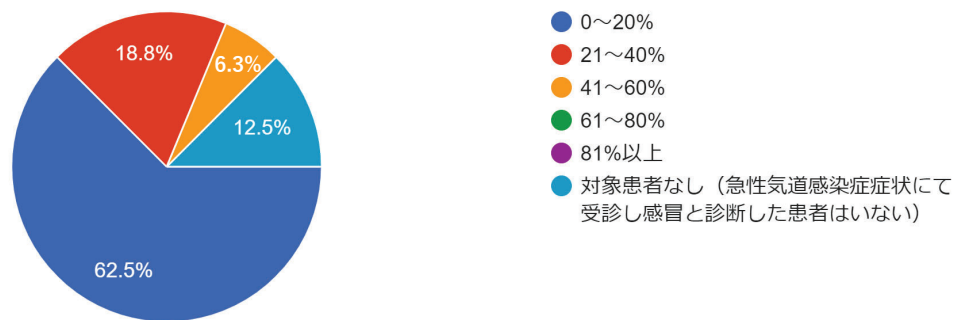
問5. 急性気道感染症に対して、院内で実施できる迅速抗原（1時間以内で判定可能な迅速遺伝子検査を含む）検査はありますか？あてはまるものすべてを選択してください。

16件の回答



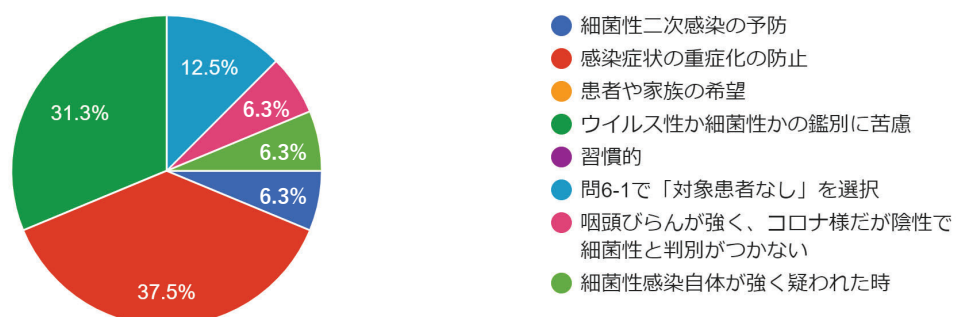
問6-1. 過去1年間に、基礎疾患のない急性気道感染症症状にて受診し感冒と診断した患者（COVID-19(または疑い)も含む）のうち、どのくらいの患者に抗菌薬を処方しましたか？

16件の回答



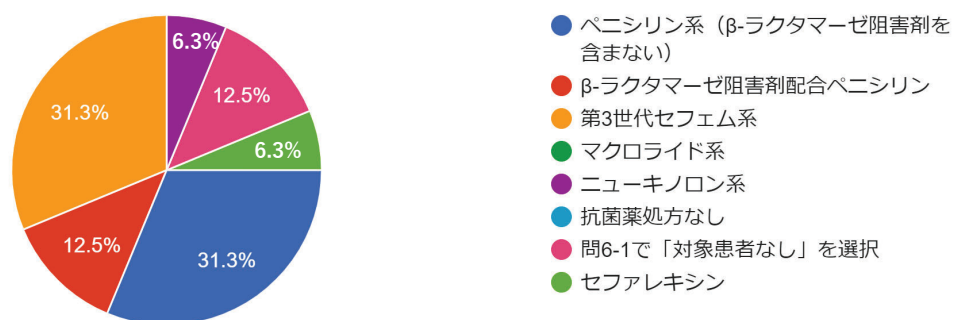
問6-2. 問6-1で抗菌薬を処方する場合、その投与理由で最も多いものを1つお答えください。

16件の回答



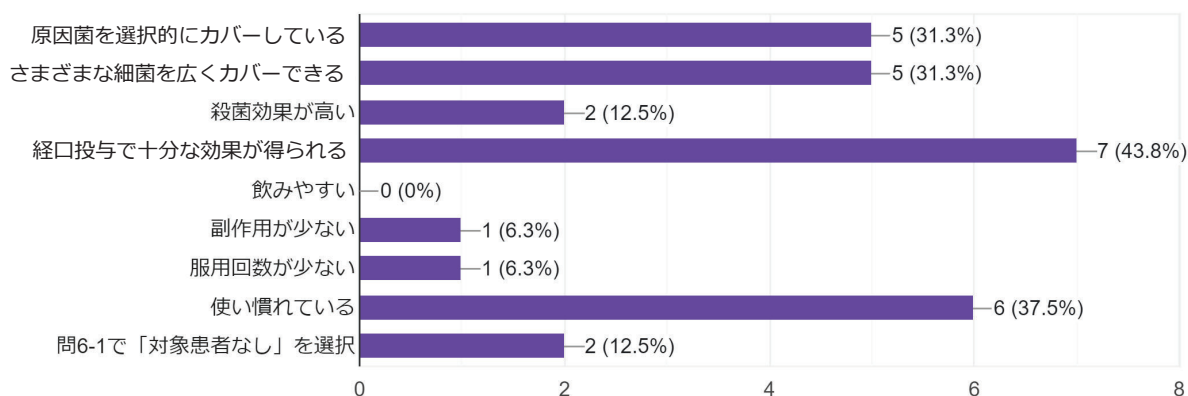
問6-3. 問6-1で最も多く処方した抗菌薬は何ですか？（回答は1つ）

16 件の回答



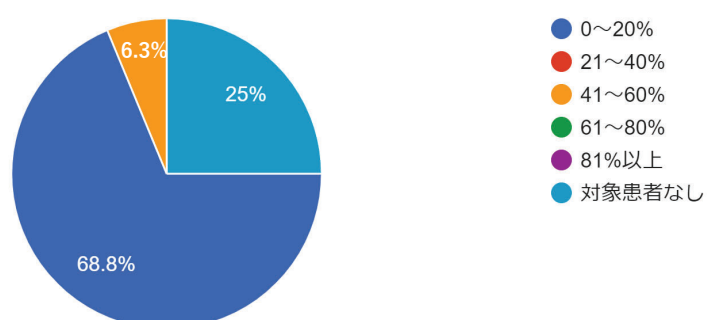
問6-4. 問6-3の抗菌薬を選択した理由を2つお答えください。

16 件の回答



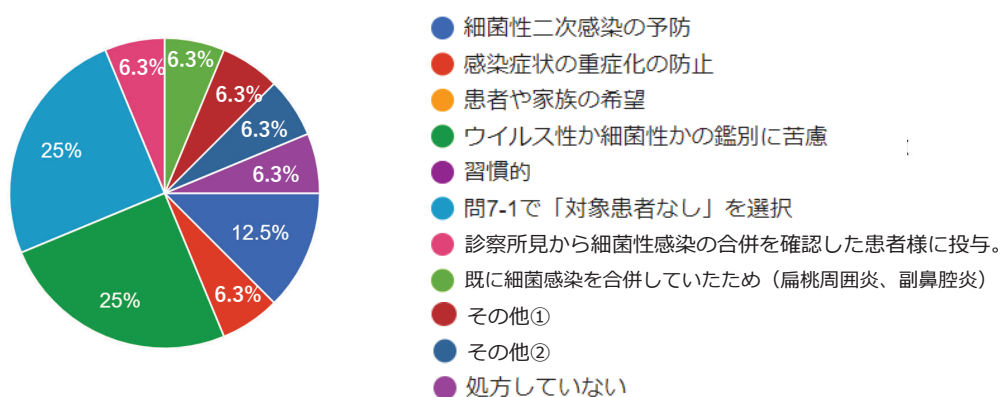
問7-1. COVID-19（または疑い）患者のうち、どのくらいの患者に抗菌薬を処方しましたか？

16 件の回答



問7-2. 問 7-1で抗菌薬を処方する場合、その投与理由で最も多いものを1つお答えください。

16 件の回答



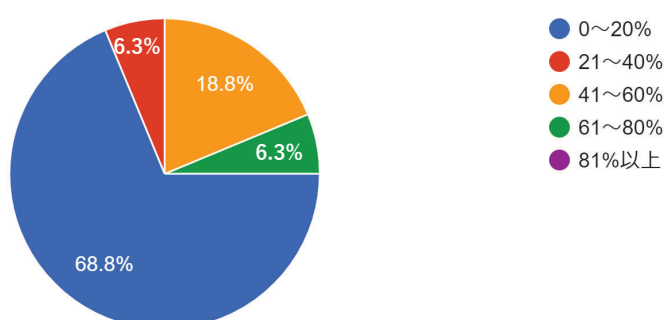
問7-3. 問 7-1で最も多く処方した抗菌薬は何ですか？（回答は1つ）

16 件の回答



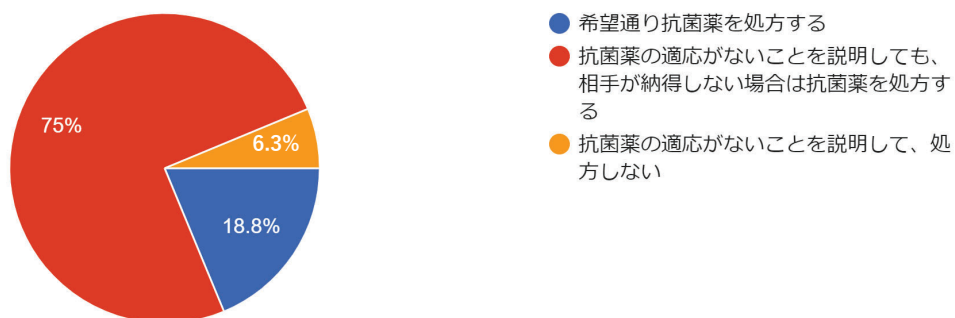
問8. 感冒と診断した患者さんやその家族が、抗菌薬処方を希望する場合は、どれくらいありますか？

16 件の回答



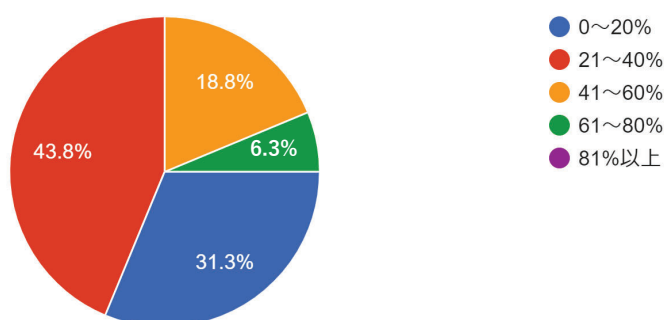
問9. 感冒と診断した患者さんやその家族が抗菌薬...方を希望した場合、どのように対応されますか？

16 件の回答



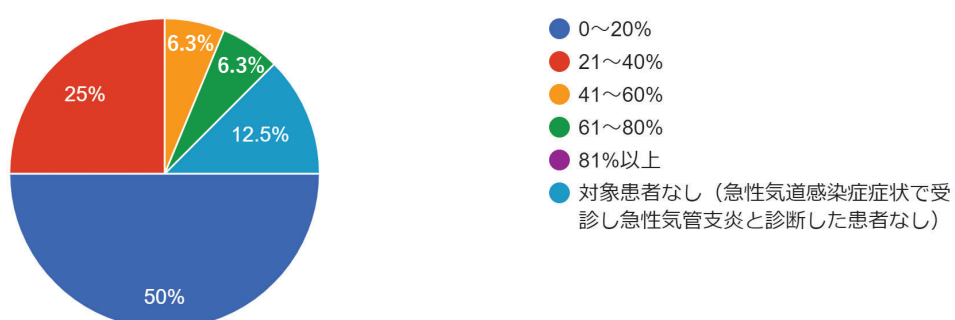
問10. 感冒には抗菌薬が効かないことを理解して...は、日常診療でどのくらいの割合と感じますか？

16 件の回答



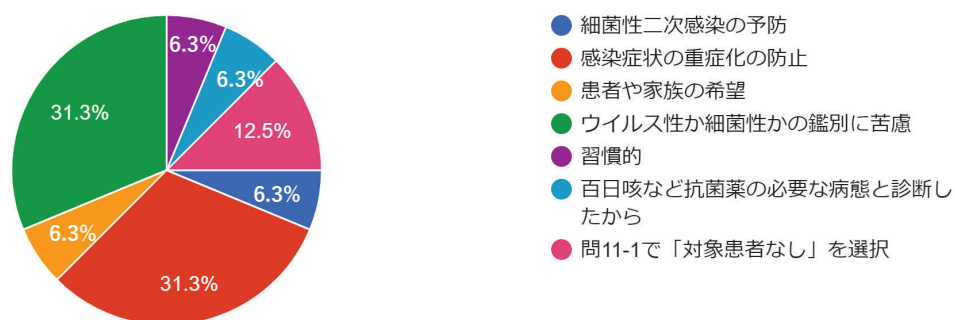
問11-1. 過去1年間に、基礎疾患のない急性気道...断した場合、どのくらい抗菌薬を処方しましたか？

16 件の回答



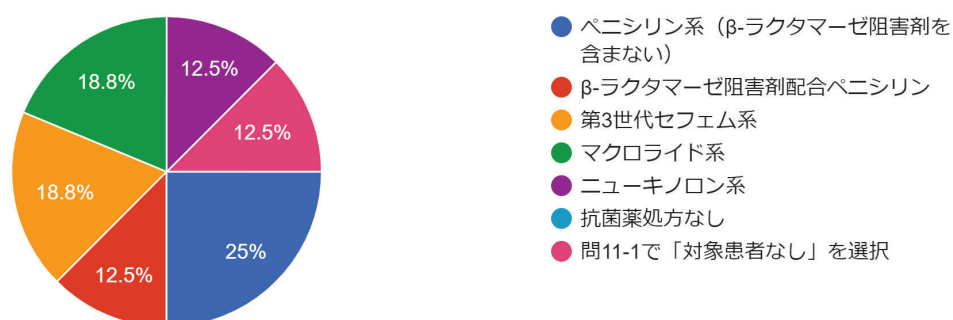
問11-2. 問11-1で抗菌薬を処方する場合、その投与理由で最も多いものを1つお答えください。

16 件の回答



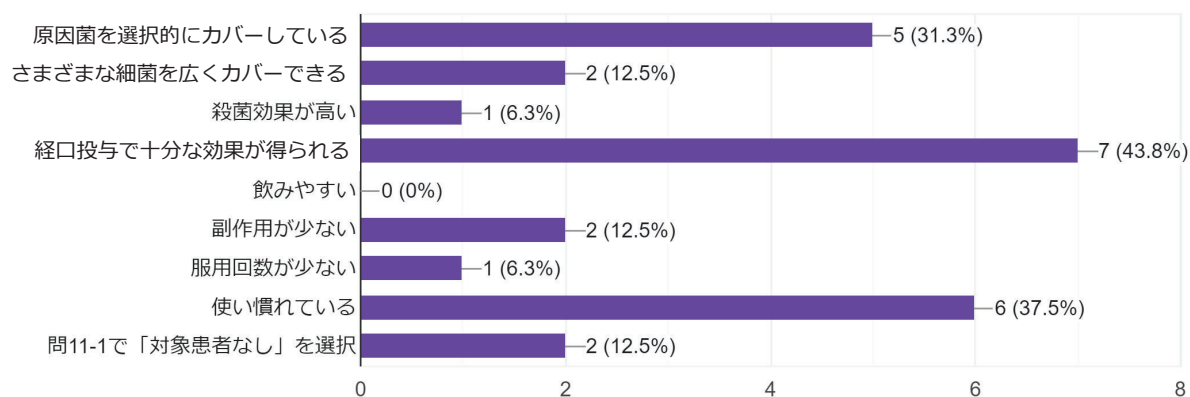
問11-3. 問11-1で最も多く処方した抗菌薬は何ですか？（回答は1つ）

16 件の回答



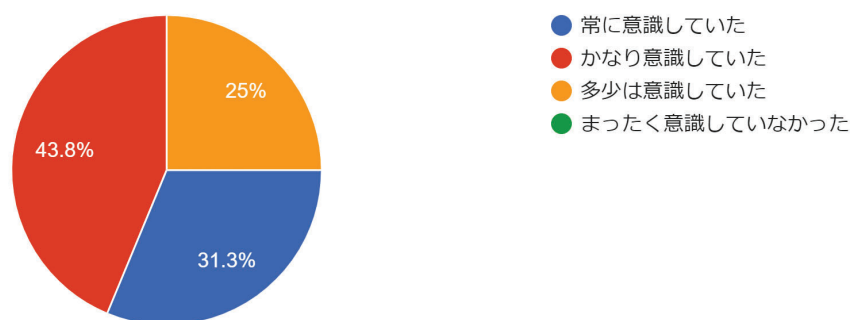
問11-4. 問11-3の抗菌薬を選択した理由を2つお答えください。

16 件の回答



問12. 過去1年間に「抗菌薬の適正使用」についてどのくらい意識していましたか？

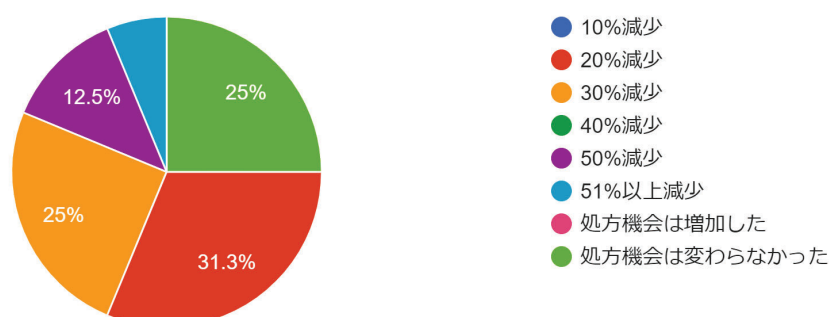
16 件の回答



問13. 「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」では、2020 年までに主な経口抗菌薬の処方を 50%削減することが目標 となっていました*。あなた自身は、アクションプランが作られる前の 2015 年頃と比較して抗菌薬を処方する機会がどの程度減ったかお答えください。

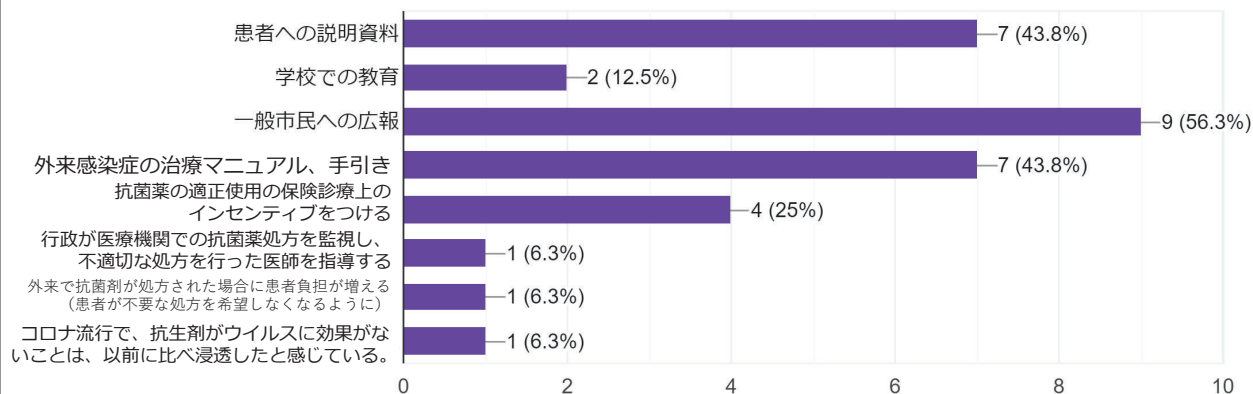
*経口セファロスポリン系薬、フルオロキノロン系薬、マクロライド系薬の人口千人あたりの一日使用量を 2013 年の水準から50%削減する。

16 件の回答



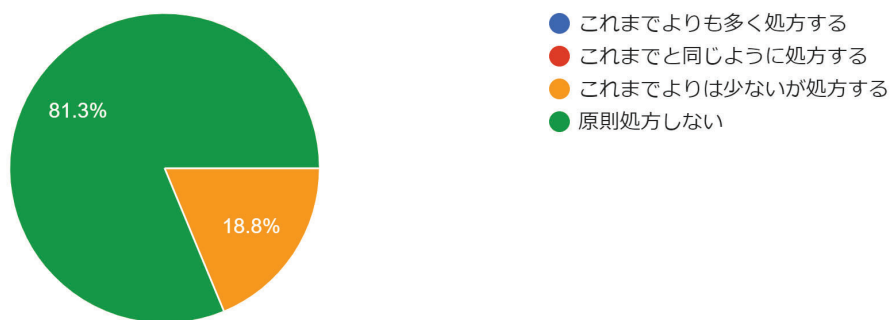
問14. 経口抗菌薬の処方を減らし、上記のアクションプランの目標を達成するには、何が必要と思われますか？2つお答えください。

16 件の回答



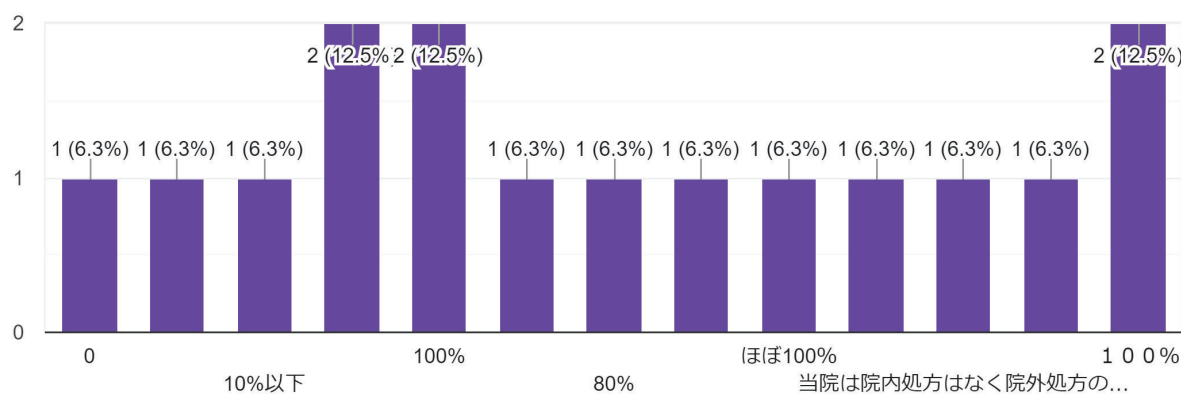
問15. 今後、基礎疾患のない急性気道感染症症状のある患者が受診し、感冒と診断した場合、抗菌薬を処方しますか？

16件の回答



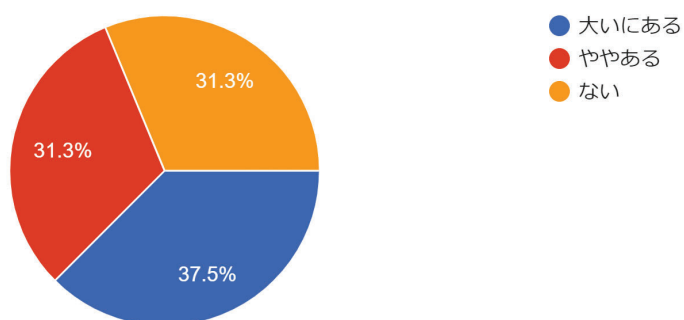
問16-1. 経口抗菌薬の院外処方率は何%ですか？

16件の回答



問16-2. 経口抗菌薬の供給不足に伴う診療上の影響はありますか？

16件の回答



問16-3-1. 問16-2で「大いにある」「ややある」を選択された場合、影響を受けた経口抗菌薬は何ですか？影響を受けた抗菌薬をすべて商品名で記載して下さい。（問16-2で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

例) オークメンチン、アモキシシリンカプセル等

16 件の回答

ない
オークメンチン
クラビット
オークメンチン、アモキシシリン
クラバモックス、メイアクト、フロモックス
サワシリン細粒
クラバモックス、ワイドシリン
キノロン
クラバモックス
オークメンチン配合錠、パセトシン細粒

問16-3-2. 上記の代替薬は何を選択していますか？（問16-2で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

例1) オークメンチン→ジェニナック

例2) アモキシシリンカプセル→セフゾン

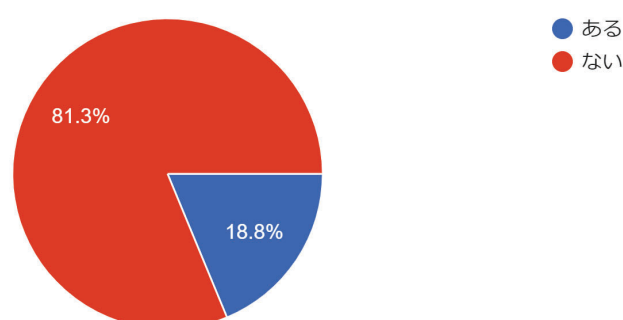
例3) アモキシシリンカプセル→抗菌薬処方無し

16 件の回答

ない	パセトシン細粒→ケフラル細粒
→レボフロキサシン	オークメンチン→ユナシン錠
ワイドシリン	メイアクト、オゼックス
	オゼックス
	L-kFLX
	クラバモックス→ワイドシリン
	パセトシン細粒→セフゾン。オークメンチン→ユナシン
	オークメンチン→ケフラル
	L-ケフレックス

問16-4. 抗菌薬適正使用に関連して影響を受けた経口抗菌薬はありますか？

16 件の回答



問16-5. 問16-4で「ある」を選択された場合、その状況を教えてください。（問16-4で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

16 件の回答

ない

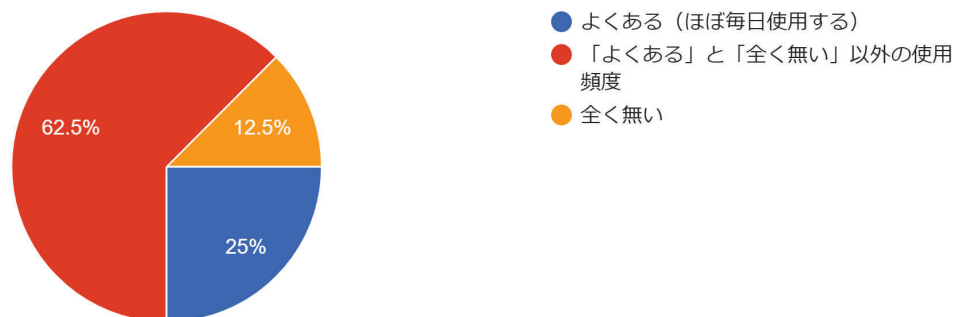
アモキシシリン

質問の意味が理解できなくとりあえずあるにしました。

経口第3世代セフェムは原則処方しない

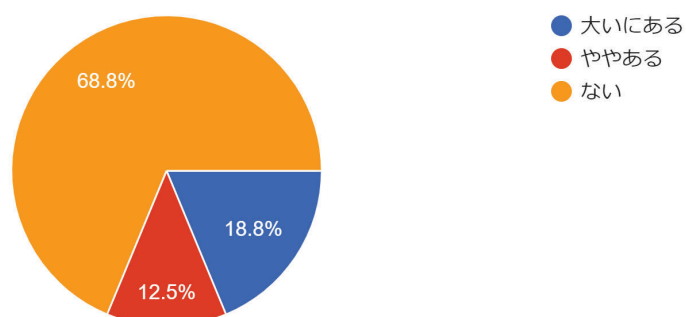
問17-1. 注射用抗菌薬を投与することはありますか？

16 件の回答



問17-2. 注射用抗菌薬の供給不足に伴う診療上の影響はありますか？

16 件の回答



問17-3-1. 問17-2で「大いにある」「ややある」を選択された場合、影響を受けた注射用抗菌薬は何ですか？影響を受けた抗菌薬をすべて商品名で記載して下さい。（問17-2で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

例) メロペン、ユナシン等

16件の回答

ない

メロペン

セファゾリン バクフォーゼ

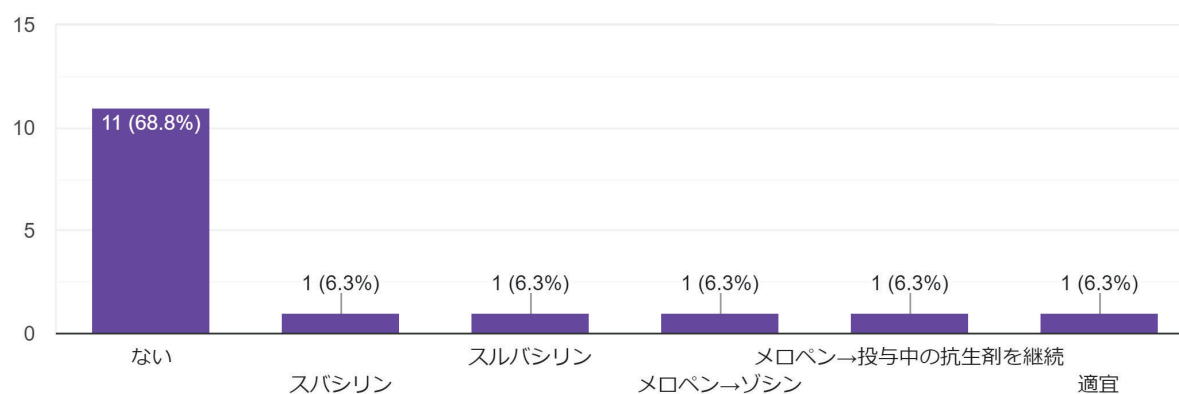
ロセフィン、クラビット、メロペン

メロペン、ロセフィン

問17-3-1. 問17-2で「大いにある」「ややある」を選択された場合、影響を受けた注射用抗菌薬は何ですか？影響を受けた抗菌薬をすべて商品名で記載して下さい。（問17-2で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

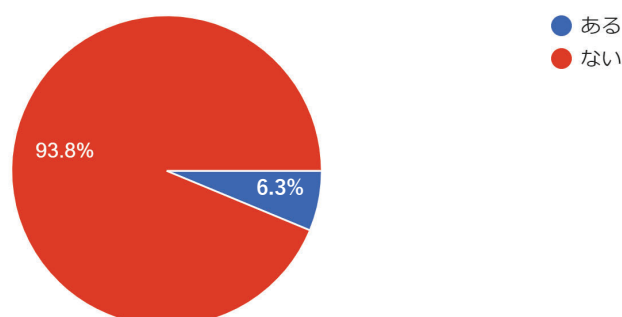
例) メロペン、ユナシン等

16件の回答



問17-4. 抗菌薬適正使用に関連して影響を受けた注射用抗菌薬はありますか？

16件の回答



問17-5. 問17-4で「ある」を選択された場合、その状況を教えてください。（問17-4で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

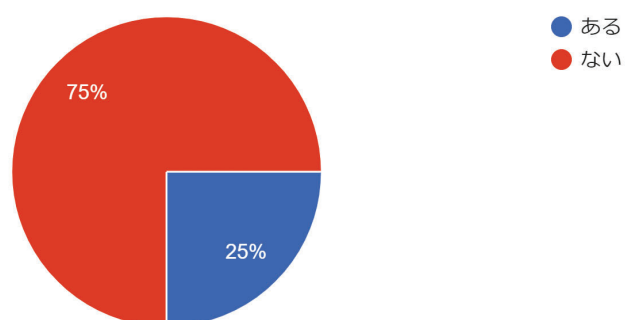
16 件の回答

ない

ユナシン

問18-1. 供給不安定な抗菌薬の代替薬を提案する部署はありますか？

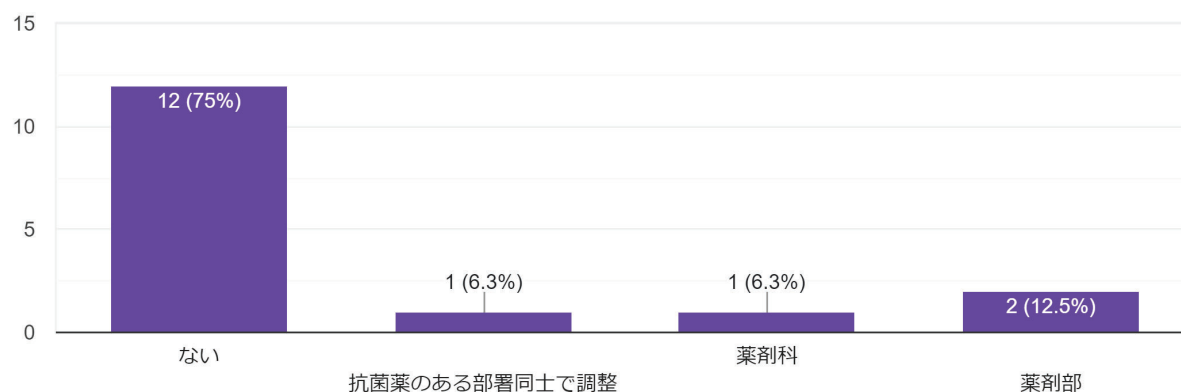
16 件の回答



問18-2. 問18-1「ある」の場合、その部署は何処ですか？

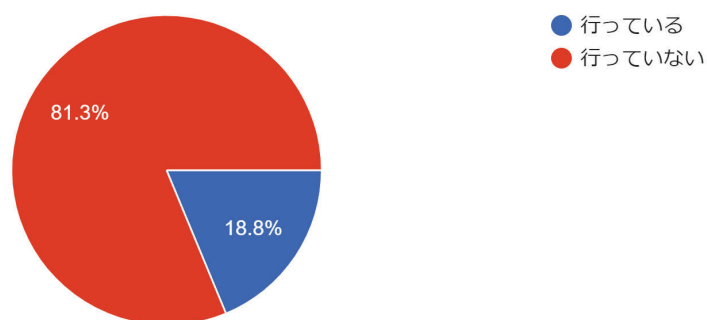
（問18-1で「ない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

16 件の回答



問19-1. 供給不安定な抗菌薬の確保のために取り組みを行っていますか？

16 件の回答



問19-2. 問19-1で「行っている」を選択された場合、どんな取り組みを行っていますか？（問19-1で「行っていない」を選択された場合は「ない」と記載して下さい）

16 件の回答

ない

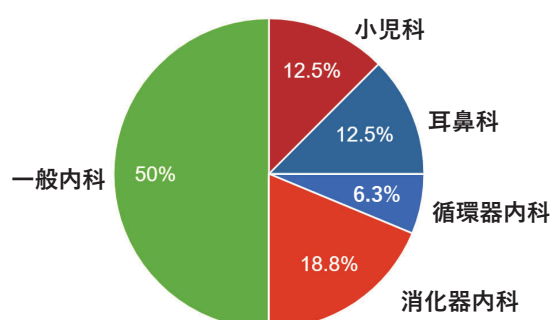
早めに発注する、卸に交渉する

確保せざる時に問屋に少し多めに注文し備蓄している

供給不安定であることを院内周知実施

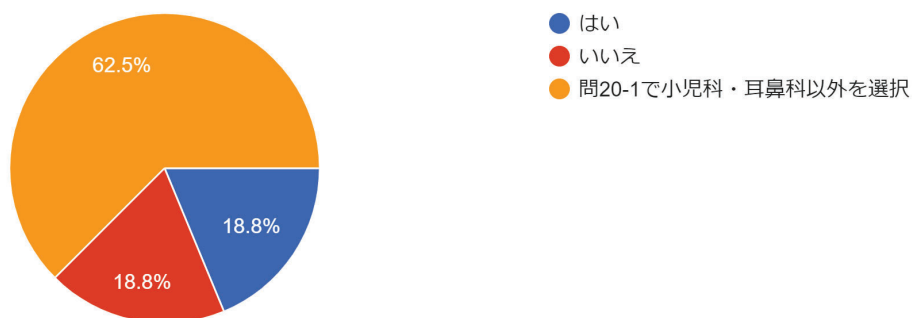
問20-1. 主たる診療科目を1つお答えください。

16 件の回答



問20-2. 主たる診療科目が小児科・耳鼻科を選択された方へ。小児・耳鼻咽喉科小児抗菌薬適正使用支援加算を請求していますか。

16 件の回答



問21. 抗菌薬適正使用に関して、コメントや要望等あればご記入ください

16 件の回答

現状の問題は医師よりも患者の理解の問題が強いと思われる。誤診や万が一がないのかといわれると医療に絶対がないためよりリスクの少ない処方するという選択になってしまう。医師のインセンティブを増やした場合、患者にとっては抗生剤を処方されたほうが医療費が安くなるというメリットを作ってしまうため、今より患者が抗生剤を希望するようになる可能性があり避けるべきと思われる。

患者様に対して不利益とならない適正使用を心がけたいと思います。

供給不足を早く解消してほしい

供給量不足を解消してほしい